
一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

平成 23 年度 社員総会議案書

日時：2011 年 6 月 25 日(土) 13:00~14:00

会場：日本大学理工学部 駿河台校舎 1号館3階 131教室

議事次第：

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長団等選出（議長団2名、議事録署名人2名、記録者1名）
4. 議 事
 - 議案1 代議員選出
 - 議案2 役員選出
 - 議案3 平成23年度 事業計画案
 - 議案4 平成23年度 予算案
 - 議案5 その他
5. 報 告 第14回（平成23年）全国大会（堺）開催案内
6. 閉 会

4. 議 事

議案-1 代議員選出

議案-2 役員選出

会 長 高橋儀平（東洋大学）

副会長 秋山哲男（北星学園大学：総務担当）、小山聡子（日本女子大学：会誌・事務局担当）、田中直人（摂南大学：学術研究担当）、新田保次（大阪大学：論文担当）

理 事 池田典弘（キックテック）、糟谷佐紀（神戸学院大学）、北川博巳（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）、古瀬敏（静岡文化芸術大学）、野口祐子（聖学院大学）

支部代議員（理事） 北海道支部：鈴木克典（北星学園大学）、東北支部：狩野徹（岩手県立大学）、関東甲信越支部：佐藤克志（日本女子大学）、東海北陸支部：磯部友彦（中部大学）、関西支部：相良二郎（神戸芸術工科大学）、中国四国支部：今田寛典（広島文化学園大学）、九州沖縄支部：齋場三十四（国際医療福祉大学）

代議員 秋山哲男（北星学園大学）、池田典弘（キックテック）、磯部友彦（中部大学）、井上俊孝（西九州大学）、今田寛典（広島文化学園大学）、今福義明（D P I 日本会議）、岩浦厚信（宮崎市）、江守央（日本大学）、大木洵人（シュアール）、岡田明（大阪市立大学）、小山聡子（日本女子大学）、糟谷佐紀（神戸学院大学）、狩野徹（岩手県立大学）、鎌田実（東京大学）、北川博巳（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）、古瀬敏（静岡文化芸術大学）、齋場三十四（国際医療福祉大学）、相良二郎（神戸芸術工科大学）、佐藤克志（日本女子大学）、清水政司（地域開発研究所）、末田統（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）、鈴木克典（北星学園大学）、高井広行（近畿大学）、高橋儀平（東洋大学）、竜口隆三（西日本工業大学）、田中直人（摂南大学）、土橋喜人（国際協力機構）、中野泰志（慶應義塾大学）、新田保次（大阪大学）、野口祐子（聖学院大学）、林隆史（国土技術研究センター）、蓑輪裕子（聖徳大学）、三星昭宏（近畿大学）、八藤後猛（日本大学）、山田稔（茨城大学）、横山哲（ドーコン）

監 事 黒寄隆（フロンティア法律事務所）、沢田大輔（交通エコモ財団）

名誉会員 一番ヶ瀬康子、澤村誠志、野村 勲

事務局長 清水政司（地域開発研究所）

委員会：委員長

学術研究委員会 中野泰志（慶應義塾大学）

- 1) 「法制度」特別研究委員会 永元真也（アルメック）
- 2) 「福祉交通サービス」特別研究委員会 山田 稔（茨城大学）
- 3) 「情報障害」特別研究委員会 原 利明（鹿島）
- 4) 「子育て・子育てまちづくり」特別研究委員会 長谷川万由美（宇都宮大学）
- 5) 「震災復興」特別委員会 秋山哲男（北星学園大学）

会誌委員会 野口祐子（聖学院大学）

論文委員会 岡田 明（大阪市立大学）

総務委員会 糟谷佐紀（神戸学院大学）

学会賞選考委員会 古瀬敏（静岡文化芸術大学）

議案-3 2011年度事業計画案

3-1 学術研究委員会 委員長 中野 泰志

3-1-1 活動方針

＜目的＞ 5つの特別研究委員会を遂行し、さらに学会として取り組むべき研究分野・課題（集中的な討議を必要とするもの、萌芽的であり今後の発展が期待できるもの、他学会等との有益な協力関係がとれるもの等）についての研究を推進し、その成果を社会に還元する。

＜活動内容＞ 特別研究委員会における研究の推進、並びに、特別研究委員会の研究支援を実施する。また、複数の特別研究委員会に共通するテーマでの研究会、勉強会、講演会、セミナー等を企画し、開催する。本年度、障害当事者団体との協力による「日本の福祉のまちづくりの足跡をたどる」連続セミナー（仮称）や他の学会等との協力による東日本大震災関係のシンポジウムを計画する。

＜実施方法＞ 学会ホームページへの情報の掲載や会員へのメール発信により、研究会・勉強会・講習会・セミナー等の開催案内を行い、各委員会活動の普及や新たな共同研究等の推進を図る。また、特別研究委員会の活動を支援するためにメーリングリスト等を充実させる。さらに、障害当事者が学会の情報にアクセスしやすくするために、一昨年度から情報障害特別研究委員会でスタートした学会ホームページのアクセシビリティを向上させる活動を支援する。

3-1-2 特別研究委員会

(1) 法制度特別研究委員会 委員長 永元真也

＜目的＞バリアフリー新法や、同法に基づく各自自治体の委任条例、福祉のまちづくり条例等を主な対象として、法制度の課題やあり方について研究を進める。

＜活動内容＞＜活動予定＞委員会（研究会）を年5回程度開催する。研究テーマは、1)福祉のまちづくり条例・委任条例の制定・改正動向、2)バリアフリー基本構想の策定状況、整備の進捗状況、3)バリアフリー新法の見直し・障がい者制度改革の動向 等

(2) 福祉交通サービス特別研究委員会 委員長 山田 稔

＜目的＞介助を伴うあるいは車椅子に対応した個別移動サービス（以下STサービス）の利用者ニーズ、運営の仕組み、制度などについて、現状の課題の共通認識に基づき議論する。また、道路や公共交通のバリアフリー化と個別移動との相互補完性に基づいて今後のあり方を議論する。

＜活動計画＞1)研究会の開催・隔月のペースで開催予定、2)「福祉交通セミナー」12月を予定

(3) 情報障害特別研究委員会 委員長 原 利明

＜目的＞情報障害者のアクセシビリティの課題を把握し、空間・情報提供・支援の環境のあり方と実現のためのエビデンスなどを明らかにする。その成果を広く会員・社会に発信していく。

＜活動計画＞1)節電の問題点の調査・検討、2)シンポジウム・公開研究会の開催、3)歩行者誘導WG：光・音・路面サインなどを用いた歩行者誘導の実地検証と有効性の検討、4)音サインWG：音サインに関するJIS原案作成とISO化、国交省ガイドライン化も目指す、5)人的支援WG準備会：勉強会・公開研究会の開催

(4) 子育て・子育てまちづくり特別研究委員会 委員長 長谷川万由美

＜目的＞＜活動内容＞研究会やセミナーを通じて、福祉のまちづくりを子どもの健やかな育ちや子育て支援の観点から見直し、必要な施策やサービス、まちづくりのあり方を検討する。

＜活動計画＞1)研究会3回開催(7月、10月、11月予定)、2)第4回子育て・子育てまちづくりセミナー開催(2011年2月予定)、3)子育てバリアフリー教室の手引きの作成のための予備的調査、4)メーリングリスト等による委員間の情報交換、5)ホームページを活用した委員会活動についての情報発信

3-1-3 震災復興特別委員会 委員長 秋山哲男

<目的>障害者・高齢者を中心とした復興づくりにおいて、現地調査を通して何が課題かを明らかにし、そのための復興支援体制を計画・実施を目的とする。

<活動計画>6月～11月まで ①避難・移動・交通・まちづくり、②住まい、③福祉コミュニティ、の3つのテーマを中心に、参加者を募集し、現地調査を実施する。セミナーを実施する。

3-2 会誌委員会 委員長 野口祐子

(1) 法人化に伴い、会誌の発刊を年3号体制とする

Vol. 13 No. 2 (2011年7月15日号)

Vol. 13 No. 3 (2011年11月15日号)

Vol. 14 No. 1 (2012年3月15日号)

主な内容：「福祉のまちづくりことはじめ」

2011年度全国大会（堺）に関する報告

他企画中

(2) 法人化に伴い、紙面・表紙を刷新する

(3) 編集・印刷業務を委託する

(1) (2) について Vol. 13 No. 2 より実施

3-3 論文委員会 委員長 岡田 明

(1) 学会誌への論文掲載

・ Vol. 13 No. 2 (2011年7月15日号)

・ Vol. 13 No. 3 (2011年11月15日号)

・ Vol. 14 No. 1 (2012年3月15日号)

(2) 検討課題

・ 論文委員および査読候補者リストの拡充

・ 論文誌の独立化に伴う表紙デザインの検討（会誌委員会と継続審議）

・ 論文投稿数増加対策

3-4 総務委員会 委員長 糟谷佐紀

(1) 総務委員会の開催（年3回程度）

(2) 各種規程（法人化に伴う委員会等各種規程）の整備

(3) 支部支援の在り方検討

(4) 法人組織体制の強化、検討

(5) 法人版パンフレット、リーフレットの発行等広報活動の強化、検討

(6) 論文委員会との連携によるCiNiiへの論文等の掲載

3-5 学会賞選考委員会 委員長 古瀬敏

・ 本年度も昨年通り学会賞の公募、選考を実施する

(1) 学会賞選考委員会の開催（年3回程度）

(2) 学術賞：学会誌に掲載された論文は自動的に対象；その他の応募も排除しないが、学会活動との関連を重視

(3) 市民活動賞：本学会の設立趣旨に沿う市民主体の継続的な活動を重視

3-6 支部事業

3-6-1 北海道支部 支部長 鈴木克典

- (1) 研究会・セミナー：福祉のまちづくりに関する研究会を2回程度開催する予定。共催1・後援4予定。
 - ・ 9月-第1回目のテーマ：震災と福祉のまちづくり、場所：北海道開発技術センター（予定）
 - ・ 12月-第2回目のテーマ：北海道観光とトラベルサポート（予定）

3-6-2 東北支部 支部長 狩野 徹

- (1) 2011年6月4日（土）：支部総会（仙台市仙台市福祉プラザ）
- (2) 2011年11月予定：支部事例報告会（仙台市あるいは山形市で調整中）

3-6-3 関東甲信越支部 支部長 佐藤克志

- (1) 地域固有の研究課題の抽出、調査・研究、研究会、講演会の実施
- (2) 首都圏にある関係機関との連携プロジェクトの研究
- (3) 若手／学生の活動の場、ネットワークづくりの場の創設
- (4) 震災復興に関する活動

3-6-4 東海北陸支部 支部長 磯部友彦

- (1) 東海北陸支部の組織づくり
 - ・ 会員の勧誘を進める。他の団体と交流し、協力関係を進める。
- (2) 支部総会の開催
 - ・ 2011年7月開催予定
- (3) 活動計画
 - セミナー、共同研究等を企画し、開催する。対象地域を設定し、共同研究を遂行する。

3-6-5 関西支部 支部長 相良二郎

- (1) 活動計画
 - ・ 主催セミナー2回開催予定（6月・10月予定）・勉強会（2～4回予定）・支部研究会活動
- (2) 会議・打合せ等
 - ・ 2011年6月30日：関西支部役員会
 - ・ 2011年7月11日：関西支部総会
- (3) 他学会等への事業への後援

3-6-6 中国四国支部 支部長 今田寛典

- (1) 2011年7月予定 日本福祉のまちづくり学会中国四国支部幹事会総会・講演会
「呉市の斜面地域におけるコミュニティバス運行」＜NPO お出かけバスネットに依頼＞
- (2) 主催事業
 - 1) 2011年10月予定 講演：「東日本大震災被災地支援ボランティアに参加して」平岡敬子（広島文化学園大）
 - 2) 支部会員の若手研究者の講演
 - 3) 2012年2月予定 大学・高専研究発表会
 - 4) 2011年11月予定 見学会国営公園のバリアフリー（国営備北丘陵公園）
- (3) 共催・後援事業
 - 1) 農・食・医（同源研究センターとの共催）
 - 2) セミナー共催（都市計画学会中国四国支部・日本社会情報学会中国四国地区・広島文化学園大学大学院・ようようウォーキング坂町実行委員会・広島文化学園大学）

3-6-7 九州沖縄支部 支部長 齊場三十四

- (1) 第11回日本福祉のまちづくり学会九州沖縄支部大会の開催準備：場所、日時：未定
- (2) 主催事業：連続セミナー「福祉のまちづくり講座Ⅰ～Ⅲ」の開催

議案-4 平成23年度予算案

2011年度 予算案

科 目	予 算 額
I 収入の部	
1. 会費収入	7,700,000
正会員	7,400,000
学生会員	180,000
入会金	120,000
2. 法人会費	662,000
法人会員	600,000
賛助会員	60,000
入会金	2,000
3. 事業収入	3,250,000
講演会・研究会による参加費	30,000
刊行物販売等	100,000
広告収入	20,000
論文掲載料・査読料	100,000
研究委託費	3,000,000
4. 寄付収入(日本福祉のまちづくり学会より)	4,765,035
5. 雑収入(利息等)	8,000
当年度収入合計	16,385,035
II 支出の部	
1. 事業費	7,665,000
全国大会支援費(関西25、九州25)	500,000
講習会等	200,000
学術研究委員会(5委員会)	500,000
学会賞事業費	700,000
会誌(論文含む、印刷、企画・450,000×3回)	1,350,000
謝金(査読者謝金・5,000×20)	100,000
ホームページ維持管理	200,000
入会案内印刷(パンフレット、リーフレット)	300,000
選挙関連費用	50,000
学会体制検討のための作業	50,000
支部支援費(北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州)	565,000
総会運営費(資料印刷代、会場費、情報保障費)	150,000
研究委託事業費	3,000,000
2. 管理費	4,250,000
事務局本部人件費	1,100,000
事務委託費	1,000,000
備品・消耗品費	300,000
印刷費(封筒、会議資料等)	200,000
通信費(切手代、宅配便、送金手数料)	250,000
交通費	1,300,000
税務処理費	70,000
事務諸経費(会議費、雑費)	30,000
3. 積立金および積み立て繰入支出	2,300,000
4. 予備費	2,170,035
当年度支出合計	16,385,035

議案5 その他

5. 報告

5-1 第14回全国大会(堺) 実行委員長 新田保次

大会テーマ：移動の自由がつむぐ心豊かな社会—ひと・まち・文化—災害に強いまちづくりをめざして

開催日時：2011年8月27日(土)～29日(月) 開催場所：国際障害者交流センター 「ビッグ・アイ」プログラム

(1) 公開シンポジウム(無料プログラム)(2011年8月28日(日)14:00～16:00) 会場：ビッグ・アイ

歓迎挨拶 堺市長 竹山修身氏

基調講演 竹中ナミ氏(社会福祉法人 プロップ・ステーション理事長)

「子供たちに輝く未来を～すべての人が誇りを持って生きられる社会に～」

パネルディスカッション

テーマ(案) 「移動の自由がつむぐ心豊かな社会—ひと・まち・文化—
災害に強いまちづくりをめざして」

コーディネーター：新田保次氏(大阪大学教授)

パネリスト：数名程度

(2) 研究発表会(2010年8月27日(土)、28日(日))

(3) 展示会(2011年8月27日(土)13:30～17:45、8月28日(日)9:15～15:45) 会場：ビッグ・アイ
エントランスホール

(4) 交流会(2011年8月27日(土)18:00～20:00) 会場：ビッグ・アイ エントランスホール研修室

(5) 見学会(2011年8月29日(月) A.10:00～11:30, B.13:00～15:00)

A. 誰でも楽しめます!ユニバーサル・サイクル体験会(主催:あおぞら財団):タンデム(二人乗り)
自転車、ハンドサイクルの体験会(参加費500円)

B. 観光ガイドとめぐる千利休生誕地”堺”～茶の湯文化に華を添えた和菓子探訪～(主催:株インプ
リジョン)(参加費3,000円)

※) AコースとBコースの両方に参加していただくことも可能です。